

本誌は、県民の皆様へ山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。



ブックリスト「こどもにすすめたい本 2020」をご活用ください！

昨年1年間に出版された本の中から、子どもたちに読んでほしい110冊を、山梨県内の図書館員がピックアップ！ 選んだ本を紹介するブックリストを、山梨県立図書館と山梨県公共図書館協会で作成しました。ご家庭や保育園・幼稚園での読み聞かせ、学校図書館や授業で使う本の選書の際にご活用ください。

対象年齢は5区分（幼児、小学生[低学年]、小学生[中学年]、小学生[高学年]、中学生・高校生）に分かれています。特におすすめの48冊は、表紙画像と内容を紹介したコメント付きです。絵本や物語のほか、環境問題を考える『ポリぶくろ、1まい、すてた』や、日本の植物学の父・牧野富太郎の伝記『草木とみた夢』、わかりやすく法律を紹介した『こども六法』など知識の本も選ばれています。

ブックリストは当館のホームページからも閲覧・ダウンロードができます。

★「こどもにすすめたい本 2020」

URL: https://www.lib.pref.yamanashi.jp/hakkou/h_kodomo/2020.html

なお、今年度の「こどもにすすめたい本2020」展は、臨時休館により、前号でお知らせした展示期間4/18（土）～5/15（金）から、6/2（火）～16（火）に変更して開催しました。



学校支援セットに「こどもにすすめたい本2020」を追加しました！



学校向けに調べ学習や朝の読書に役立つ図書を、テーマごとに貸出している学校支援セットですが、そのなかに「こどもにすすめたい本」セットがあるのをご存じでしょうか？

昨年度に選定された「こどもにすすめたい本2020」と、一昨年度の「こどもにすすめたい本2019」の2年分を、学校支援用としてご用意しています。

詳しい申込方法や他のセット内容は、当館ホームページ「学校支援セット貸出」をご覧ください。

URL: https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_gakkou2.html

令和元年度「子どもの保護者への啓発事業」報告

子ども読書支援センターでは、家庭や地域から子どもの読書活動をすすめるために、委託事業「子どもの保護者への啓発事業」を行っています。NPO法人山梨子ども図書館に委託し、法人から講師を派遣して、子どもの保護者を対象とした読書についての研修会を開催しました。令和元年度は、宮崎さなゑ氏が講師として赴き、県内12カ所の幼稚園・保育所や小学校などで、合計344名（大人324名、子ども20名）の参加者がありました。

講師の宮崎氏は、子どもと大人ではおもしろいと思う本が違うことや、子どもの成長の特性をふまえて、選書することの大切さなどを講演されました。参加者アンケートには、「楽しい時間だった。自分も本を読んでみたくなった。」「挿絵のことまで考えていなかった。本物の本の選び方を知ることができてよかった。」などの意見が寄せられました。



ブックリスト「いいね！の本だな ～小学校5・6年生編～」ができました！



子ども読書支援センターでは、令和元年度に小学校高学年向けのブックリストを発行しました。「文学（日本・外国）」「戦争と平和」「科学・技術」など9つのテーマごとに、小学校5・6年生が読むのに「いいね！」と思う本を厳選しました。引き続き今年度は、小学校3・4年生向けのブックリストを発行予定です。

冊子は、子ども読書支援センター（児童資料コーナー）にて配布しています。また、ホームページからも閲覧やダウンロードができますので、ぜひご利用ください。

★ 「いいね！の本だな ～小学校5・6年生編～」

URL: <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/shien/iinenohondanasyougakkou5-6.pdf>

この本、わかるかな？ 外国語の本いろいろ

子ども読書支援センターには、現在24か国語の外国語の本があります。写真はその一例です。書名は時計回りに、

①『百万回生きたねこ』（タイ語） ②『うみの100かいだてのいえ』（スペイン語） ③『としょかんライオン』（朝鮮語） ④『おこだでませんように』（同）です。

ちなみに、中国語の書名で『查理和巧克力工厂』は、ロアルド・ダールの『Charlie and the Chocolate Factory（日本語版：チョコレート工場の秘密）』です。「巧克力」がチョコレートを意味します。ダールの本も多数入りましたので、ぜひ手に取ってみてください。

